

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	一般産業用機械製造工場爆発火災における工場内進入時の事例
3. 体験した事例の中心的要素	「工場内で爆発火災で発生し負傷者がいる」との指令で出場するが、爆発物や状況、負傷者の人数など一切不明の中、工場内に進入しなければならなかつた。
4. 体験した事例の原因・理由	発災場所と通報した場所が離れていたため、通報者は現場を見ていない、又聞き通報であり消防からの質問に答えられなかつた。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 19 年 5 月 8 日 午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：工場内への進入
4. 体験した事例の種類	回答者が、自己自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	死亡していた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	高温・低温物と接触、有害物と接触、爆発・破裂、
7. 事例体験時の活動	火災、現場到着、〔防火建造物〕
8.（7の活動中）どのような作業中に発生したか	指揮本部設定、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[45]歳、 勤続年数[25]年、 現場経験年数[10] 年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [複数隊の隊長]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	出場指令に消防車両に乗車する。	
経過 2	A	出場途上、指令課に事故の概要を確認するも詳細は不明との回答。	
経過 3	A	発災工場正門より関係者の誘導により現場へ向かう。	
経過 4	A	爆発現場の状況確認。	
経過 5	A	現場にいた関係者より事故概要の説明を求めた。	
経過 6	A	説明を受け初めて事故の詳細を知る。	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかつた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
 - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。
 - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があつた。

--

○ヒヤリハット事例:一般産業用機械製造工場爆発火災における工場内進入時の事例
(同様の体験は、初めて体験した。)

(07H0008)

・発生日時 :平成19年5月8日 午前11時頃

経過	現場の状況	隊員A	備考
		隊員／消防士長 ・年齢 38 歳 ・勤続 16 年 ・現場 11 年 ・同様の活動: 1年に数度	
	<p>建物火災に出動。</p> <p>↓</p> <p>到着後、要救助者の有無が不明と情報を得る。</p> <p>↓</p> <p>援護注水を受け、屋内検索を開始。</p> <p>↓</p> <p>二階部分に進入し、各部屋を検索を開始。</p> <p>↓</p> <p>最初に進入した部屋の排煙作業・検索を開始。</p> <p>↓</p> <p>2階の床部分(部屋の中心)が抜けているとは知らずに「大丈夫だろう・抜けていないだろう」という、先入観があった。</p> <p>↓</p> <p>排煙時、部屋の中心部分に焼け抜けを確認。</p> <p>↓</p> <p>中心部分を検索していたらと思うと「ヒヤリ」する。</p> <p>↓</p> <p>現場活動終了後、部隊にて体験談を話し合う。</p>		

○ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

○直接的な原因:行動の意志決定に問題があった。

・たまたま、負傷事故にならなかった。

○その他:室内に進入し、壁面寄りに検索を行っていったため、落下せずに済んだ。

○ヒヤリハットが起きた背後要因

(心理・体調について)

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- ・活動に対する経験が不足していた。